



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月28日

上場会社名 株式会社ダイユーエイト 上場取引所 東  
 コード番号 2662 URL http://daiyu8.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅倉 俊一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長 (氏名) 石黒 隆 (TEL) 024 (545) 2215  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年2月21日～平成25年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	10,001	2.2	275	△34.6	265	△34.5	176	△21.9
25年2月期第1四半期	9,785	2.0	421	△40.8	405	△43.1	226	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 190百万円(△9.8%) 25年2月期第1四半期 211百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第1四半期	22	86	—	—
25年2月期第1四半期	33	51	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	26,665	—	5,059	18.9	—	—
25年2月期	25,846	—	4,946	19.1	—	—

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 5,055百万円 25年2月期 4,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年2月期	—	10.00	—	10.00	—	20.00
26年2月期	—	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	—	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月21日～平成26年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	20,600	5.3	750	8.8	730	8.1	480	11.5	62	06
通期	42,000	5.2	1,350	3.5	1,300	1.5	760	12.3	98	27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	7,734,000株	25年2月期	7,734,000株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	117株	25年2月期	117株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	7,733,883株	25年2月期1Q	6,761,677株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成25年2月21日～平成25年5月20日)におけるわが国の経済は、新政権による円高是正、金融緩和をはじめとした経済政策への期待感から、輸出関連企業を中心として企業収益改善の動きが見られ、株価についても回復の傾向が顕著であり、全体として景気回復の兆しが見られました。個人消費につきましても、春先の天候不順によって売上の不調はあったものの、高品質の商品を中心に回復の兆しが見られました。一方で、長引く欧州の財政不安、円安による原材料価格の上昇、電気料の値上げ等、国内景気の減速懸念もあることから、依然として国内景気の先行き不透明感を払拭しきれない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは当第1四半期連結累計期間におきまして、新規出店として、ホームセンター「ダイユーエイト」は3月に岩手水沢店を開設し、当社グループとして初めて岩手県に進出いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、86店舗となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の連結売上高は100億1百万円(前年同期比2.2%増)、連結営業利益は2億7千5百万円(同34.6%減)、連結経常利益は2億6千5百万円(同34.5%減)、連結四半期純利益は1億7千6百万円(同21.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [ホームセンター事業]

ホームセンター事業は、営業休止店舗を除く既存店ベースで、客数が1.2%増加しましたが、客単価が前年同期比で2.9%減少したことから、既存店売上高は1.8%減少しました。

既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、前年に比べ平均気温の上昇に伴い、用土・肥料・花苗・野菜苗といった園芸用品、植物の売れ行きが好調に推移しました。また転居等に伴うインテリア・エクステリア関連商品についても堅調に売上が推移しました。一方、春先の低温期の売上構成で大きな割合を占める灯油・ストーブ等の暖房関連用品の売上高は、気温の上昇を受けて前年対比で減少しました。また、前年は東日本大震災の発生に伴い被災3県(岩手県・宮城県・福島県)において地デジ放送への移行延期の影響で大きく売上高が伸長していた地デジチューナー・テレビ等の家電用品特需が一巡し、売上高は前年対比で減少しました。

一方、セグメント利益につきましては、新規出店に伴う人員増加による人件費の増加、及び販売広告費等の経費の増加により前年対比で減少しました。

これらの結果、ホームセンター事業における売上高は81億1百万円(前年同期比0.8%減)セグメント利益(営業利益)は5億2千3百万円(同14.4%減)となりました。

#### [不動産事業]

不動産事業における売上高は1億8千8百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益(営業利益)は7千5百万円(同1.0%減)となりました。

なお、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」は、当第1四半期連結会計期間末において計5箇所であります。

#### [その他]

当事業における売上高は、「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業及び「One's cycle」を展開する自転車専門店事業等により21億4千2百万円(前年同期比22.0%増)、セグメント損失(営業損失)は5千万円(前年同期はセグメント損失4千万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億1千9百万円増加し、266億6千5百万円となりました。この主な要因は、新規出店に伴うたな卸資産の増加等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ7億6百万円増加し、216億5百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、未払法人税等の減少、長期借入金の増加等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億1千2百万円増加し、50億5千9百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月2日付「平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました業績予想値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,754,809	1,493,062
売掛金	264,803	384,352
たな卸資産	6,940,930	7,559,957
その他	615,518	578,516
流動資産合計	9,576,062	10,015,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,095,096	16,191,782
減価償却累計額	△7,665,902	△7,807,273
建物及び構築物(純額)	8,429,194	8,384,509
土地	1,926,347	1,926,347
リース資産	1,004,281	1,043,929
減価償却累計額	△419,500	△471,035
リース資産(純額)	584,780	572,893
その他	446,941	483,594
減価償却累計額	△290,194	△297,657
その他(純額)	156,746	185,936
有形固定資産合計	11,097,069	11,069,685
無形固定資産		
のれん	76,973	59,330
その他	1,251,521	1,260,314
無形固定資産合計	1,328,494	1,319,644
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,437,545	2,510,612
その他	1,426,095	1,768,583
貸倒引当金	△18,990	△18,990
投資その他の資産合計	3,844,650	4,260,206
固定資産合計	16,270,215	16,649,536
資産合計	25,846,278	26,665,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,214,790	6,050,990
短期借入金	2,174,000	2,025,000
1年内返済予定の長期借入金	2,184,267	2,378,936
1年内償還予定の社債	110,000	110,000
リース債務	234,211	245,770
未払法人税等	337,126	166,080
その他	2,107,954	2,402,657
流動負債合計	13,362,349	13,379,435
固定負債		
社債	215,000	195,000
長期借入金	4,860,886	5,615,668
リース債務	456,552	442,124
退職給付引当金	215,610	222,140
役員退職慰労引当金	297,077	298,846
長期預り保証金	1,171,790	1,135,401
資産除去債務	149,949	151,418
その他	170,433	165,784
固定負債合計	7,537,300	8,226,383
負債合計	20,899,650	21,605,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,173	1,303,173
資本剰余金	1,224,682	1,224,682
利益剰余金	2,349,189	2,448,682
自己株式	△74	△74
株主資本合計	4,876,969	4,976,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,468	81,304
繰延ヘッジ損益	△2,293	△1,823
その他の包括利益累計額合計	64,175	79,481
少数株主持分	5,482	3,663
純資産合計	4,946,627	5,059,607
負債純資産合計	25,846,278	26,665,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)
売上高	9,785,281	10,001,306
売上原価	7,021,109	7,131,519
売上総利益	2,764,172	2,869,787
販売費及び一般管理費	2,342,300	2,594,177
営業利益	421,872	275,610
営業外収益		
受取利息	2,693	3,669
受取手数料	31,934	32,376
その他	17,623	25,165
営業外収益合計	52,252	61,211
営業外費用		
支払利息	45,645	37,673
その他	23,443	33,856
営業外費用合計	69,089	71,529
経常利益	405,034	265,292
特別利益		
受取損害賠償金	—	37,719
その他	—	450
特別利益合計	—	38,169
特別損失		
固定資産除却損	4,180	1,553
特別損失合計	4,180	1,553
税金等調整前四半期純利益	400,853	301,908
法人税、住民税及び事業税	153,003	155,838
法人税等調整額	22,401	△28,942
法人税等合計	175,404	126,896
少数株主損益調整前四半期純利益	225,449	175,012
少数株主損失(△)	△1,138	△1,819
四半期純利益	226,588	176,831

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	225,449	175,012
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△14,493	14,836
繰延ヘッジ損益	174	469
その他の包括利益合計	△14,318	15,306
四半期包括利益	211,130	190,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,269	192,137
少数株主に係る四半期包括利益	△1,138	△1,819

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,167,357	189,338	8,356,696	1,428,585	9,785,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	248	17,220	17,468	326,464	343,932
計	8,167,605	206,558	8,374,164	1,755,050	10,129,214
セグメント利益	612,446	76,526	688,972	△40,278	648,693

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、リフォーム事業、ハーブ・花・苗事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	688,972
「その他」の区分の利益	△40,278
セグメント間取引消去	13,052
全社費用(注)	△239,874
四半期連結損益計算書の営業利益	421,872

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、従来、「その他」の区分に含めておりました「食品スーパー事業」を、「ホームセンター事業」及び「複合商業施設事業」の区分に変更しております。これは、平成24年6月21日付で「食品スーパー事業」を営む連結子会社であった株式会社エイトフーズを吸収合併したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、前第2四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間におけるセグメント変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,101,198	187,539	8,288,738	1,712,568	10,001,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	273	1,020	1,293	429,589	430,882
計	8,101,471	188,559	8,290,031	2,142,157	10,432,189
セグメント利益	523,956	75,755	599,712	△50,856	548,855

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、リフォーム事業、ハーブ・花・苗事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	599,712
「その他」の区分の利益	△50,856
セグメント間取引消去	6,686
全社費用(注)	△279,932
四半期連結損益計算書の営業利益	275,610

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(2) 当第1四半期連結会計期間より、従来、「ホームセンター事業」に含めておりました営業企画等に係る費用の一部を、全社費用に含めております。これは、新規事業の拡大の伴い営業企画活動が全社の共通基盤であるとの位置付けに基づき、営業企画活動に係る費用について内部報告の集計単位を本部費へ変更したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(連結子会社の吸収合併)

当社は、平成25年4月2日に締結いたしました合併契約書に基づき、平成25年5月17日開催の定時株主総会の承認のもと、平成25年6月21日をもって、株式会社エイトファームを吸収合併いたしました。

1. 合併する相手会社の名称

株式会社エイトファーム

2. 合併の方法

当社を存続会社とする吸収合併方式、株式会社エイトファームは解散いたしました。

3. 合併後の会社の名称

株式会社ダイユーエイト

4. 合併に係る割当の内容

株式会社エイトファームは、当社の100%子会社であるため本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

5. 相手会社の主な事業内容及び規模

①売上高	58,931千円	(平成25年2月期)
②当期純損失(△)	△10,940千円	(平成25年2月期)
③資産の額	129,393千円	(平成25年2月20日現在)
④負債の額	198,045千円	(平成25年2月20日現在)
⑤純資産の額	△68,652千円	(平成25年2月20日現在)
⑥資本金の額	150,000千円	(平成25年2月20日現在)
⑦事業の内容	ハーブ、花・苗事業	

6. 合併の効力発生日

平成25年6月21日

7. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理いたしました。